

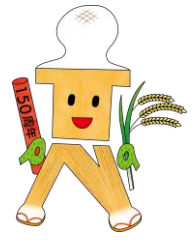


学校だより

12月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>
150周年キャラクター
もちTaNaくん

つながる・つなげる ～ 150周年行事を通して感じたこと ～

校長 大原 敦子



田奈小学校にとって大切な1ページとなった令和5年11月が終わります。中身の濃い1か月だったと改めて感じています。150周年記念式典・記念演奏会・150周年田奈のみのり・150周年記念セレモニー。たくさんの記念行事を行ったので、子どもたちはもちろん、保護者の皆様、地域の皆様にとっても重みのある11月だったのではないのでしょうか。

11月11日(土)にみどりアートパークで行った150周年記念式典に出席した職員が、次のような感想を話しました。「前の方にいる校長先生も会場の中ほどにいらっしゃる年配の方も、今田奈小に勤務している私たちも、本当に様々な世代の人たちが校歌を歌っている姿を見て、みんな田奈小学校への愛情をもって歌っているのだと、とても感動した」ということ、その様子を学級の子もたちに伝えると、みんなが校歌を歌えることに笑顔で驚いていたということ、嬉しそうに伝えてくれました。150周年を機に感動を味わって子どもたちとも共有できたことが、自分のことのように嬉しかったです。式典後に行われた150周年記念演奏会。トランペット鼓笛隊の児童は、卒業生とのコラボレーションを経験し、同じ楽器なのにその音色の豊かさや、演奏技術の高さ、一緒に演奏して感じた自分たちだけでは味わうことができなかったアンサンブルの厚みなどを体感して、とても輝いた表情をしていました。また、あかね台中学校と田奈中学校の吹奏楽部全員での演奏は、迫力と生徒の情熱、思いが強く伝わってきました。

そして、11月18日(土)の150周年記念田奈のみのりと児童主体の150周年記念セレモニー。5年生は、地域の皆様、PTA 本役員の方々の皆様、そしてたくさんの保護者ボランティアの皆様を支えられて、大切に育てて収穫した150周年記念もち米で、全校児童においしく食べてもらえるように、一生懸命餅をついたり成形したりしました。他の学年は、それぞれの学年の学習に沿って、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、貴重な学習体験を行うことができました。ご協力いただいた方々に、そして子どもたちとつながってくださったことに、心より御礼申し上げます。

長い時間をかけて準備を進めてきた150周年記念セレモニーでは、各学年から全校に呼び掛けて取り組んできた内容を発表しました。当日、予想以上にたくさんの保護者・地域の皆様に見守られてセレモニーを行うことができ、4年生がつくった『田奈っていいな』の歌詞にあった「子どもの笑顔を見守る大人」、まさにその通り、田奈の温かさそのものだと感じました。「今一緒に過ごしている仲間とつながる」ことに加え、6年生がつくったタイムカプセルにみんなで作った大鵬(おおとり)の旗やハートの飾りを入れたことで、「未来につなげる」思いのこもった贈り物になったと思いました。また、150個の風船飛ばしが、あんなにきれいでワクワクして、みんなの思いを乗せて飛んでいくのだという経験。同じ時間を同じ場所で共有する、つながるパワーをひしひしと感じたセレモニーでした。

保育園児を招いて秋祭りをした1年生、4年ぶりに実施できた区児童音楽会に参加した3年生、区スポーツ交流会で互いの力を称えあった5年生。1年前だったら不可能だった「同じ時間を同じ場所で共有する、つながるよさ」は、あちらこちらでその価値を発揮しています。体育館への階段アートをふと見たら、校舎の上にとくさんの風船が飛んでいる絵であることに改めて気づき、昨年度の6年生とのつながりを感じました。「つながる・つなげる」ことをこれからも大切にしたい学校づくりをしていきたいです。

職員玄関前にある、150周年記念オブジェ!保護者の方が彫られた大鵬レリーフや技術員と栽培委員会児童も加わって作った多肉植物のオブジェです。ご来校の際にはぜひご覧ください。

